

令和3年10月22日

環境森林部 自然環境課 自然環境係(内線 2872)

農政部 技術支援課 生産環境室 植物防疫係(内線 3038)

## クビアカツヤカミキリの被害状況について

### 1 令和3年度被害状況調査結果

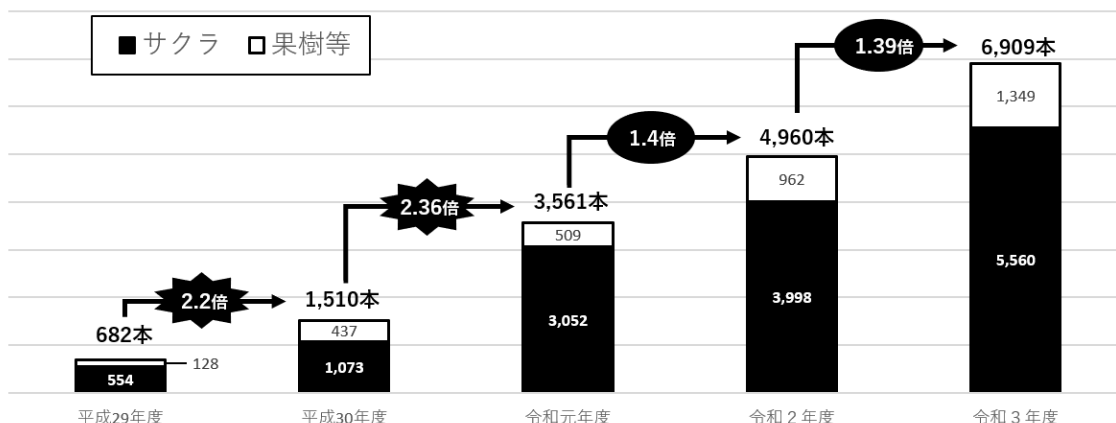
- (1) 調査内容 : 市町村及び県で把握している被害状況(フラス[幼虫のフンと木くずが混ざった排出物]を排出している被害木及び成虫の確認)
- (2) 調査期間 : 令和3年4月1日～令和3年8月31日
- (3) 調査結果



No.	市町村	被害本数	被害樹種					参考：過去の被害本数			
			サクラ	ウメ	モモ	スモモ	その他	H29	H30	R1	R2
1	前橋市	4	1	0	3	0	0	-	-	-	-
2	高崎市	41	2	15	7	17	0	-	-	-	5
3	桐生市	38	27	10	0	0	1	-	-	-	28
4	伊勢崎市	12	3	2	6	0	1	-	-	-	17
5	太田市	2,335	1,582	567	91	46	49	5	164	388	1,231
6	館林市	1,758	1,427	163	16	124	28	219	496	1,272	1,323
7	みどり市	20	1	0	19	0	0	-	-	-	6
8	板倉町	576	563	7	0	0	6	4	33	168	248
9	明和町	387	295	0	85	7	0	123	311	434	476
10	千代田町	375	371	3	0	0	1	47	120	202	382
11	大泉町	864	810	50	1	1	2	105	194	658	765
12	邑楽町	499	478	9	7	2	3	179	192	439	479
12市町合計		6,909	5,560	826	235	197	91	682	1,510	3,561	4,960
(うち果樹園)		(788)	(0)	(530)	(170)	(86)	(2)	(117)	(394)	(381)	(729)

(注1) 被害樹種のうち「その他」は、ハナモモ、アンズ等

(注2) このほか、榛東村内1箇所成虫が確認されたが、樹木被害は確認されていない



## 2 発生概況と対策

### (1) 全体

- ① 今年度は新たに前橋市内でも被害が確認され、被害発生地域は 12 市町となった。
- ② 被害本数は 6,909 本と、昨年度比で 1,949 本増加し、増加率は 1.39 倍となった。
- ③ 県中西部地域への被害の拡大は抑えられていることから、予防を含めた早期発見・早期駆除の対策が有効であったと考えられる。

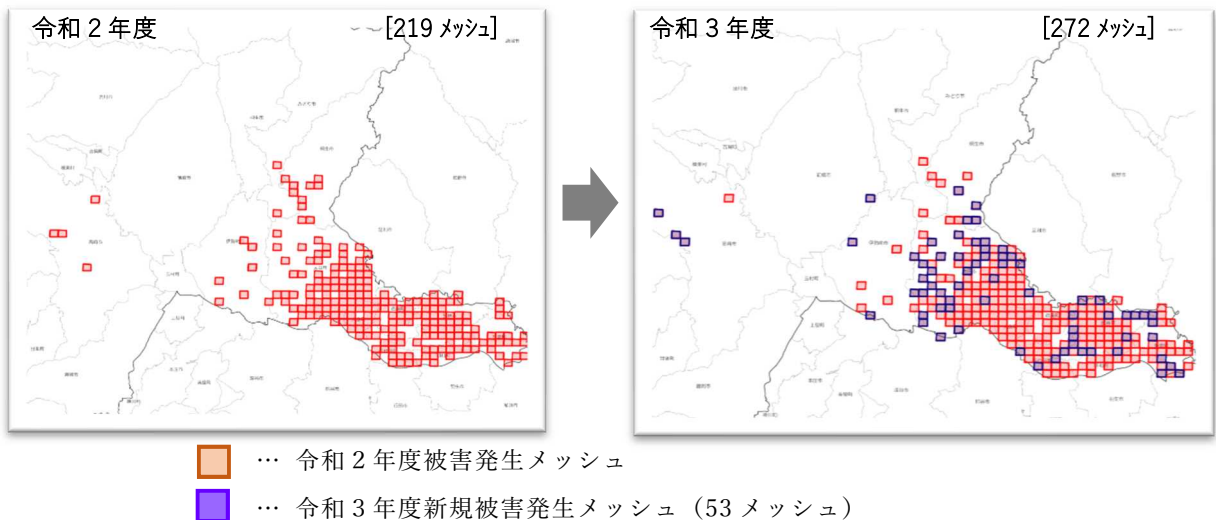
### (2) サクラ (被害の約 8 割)

- ① 多くの被害発生市町では、被害本数の増加率が抑えられている一方で、一部の市町では対前年度比増加率が 2 倍近くに上るなど、地域によるバラつきが見られた。
- ② 被害発生市町では、薬剤処理や成虫の捕殺等を中心とした対策を実施している。
- ③ 被害地域の隣接市町村や散発的な被害発生市町村では、予防のための薬剤処理、広報紙等を活用した周知啓発等の対策を実施している。

### (3) 果樹<ウメ、モモ、スモモ> (被害の約 2 割)

- ① 防除対策が徹底されている果樹生産園では被害が抑えられている一方で、管理が行き届かない一部の生産園では被害が増加している。
- ② 県では、防除対策を徹底するため、薬剤費等の対策経費の支援、より効果的かつ効率的な防除技術の確立に向けた実証試験に取り組んでいる。
- ③ 今年度は、生産園以外の民有地 (個人宅・企業等) における果樹被害が増加した。

<被害発生状況の推移> クビアカツヤカミキリ被害の発生地を 1 km 四方メッシュ単位で色付け表示



## 3 参考

[県ホームページ] 特定外来生物クビアカツヤカミキリに注意してください

[http://www.pref.gunma.jp/04/e23g\\_00005.html](http://www.pref.gunma.jp/04/e23g_00005.html)

[電子地図] ぐんまクビアカマップ

<https://www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

15 陸の豊かさを守ろう

